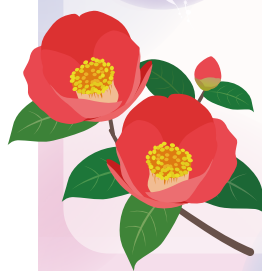


ごあいさつ



2026 年が開幕しました。今年は「丙午」の年、馬が駆け抜けるように社会が大きく発展・転換する勢いを持つ年とされ、行動力と情熱で大きな成功を収めるチャンスがある一方、転換点にもなりうるといわれています。本年も心新たに依田眞美子らしく笑顔第一で、皆さまの為に懸命に頑張ってみます。どうぞよろしくお願いいたします。

今回の通信には、昨年の12月議会での質問を掲載しております。流産や死産を経験した方(天使ママ)への支援について・国産 SAF(持続可能な航空燃料)についてです。どうぞ一読くださいませ。

本年が皆さまにおかれましては、エネルギッシュな躍動と発展の一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

実績



Before

3cmほどの
段差を解消

▲阿保7丁目 歩道改修



実績



▲東新町2丁目 道路表示設置

よりまみの 活・動・報・告



▲年末の地域ご挨拶



▲松原商工会議所 2026年 年賀会



▲消防出初式 in 大和川西運動広場



▲二十歳の集い



▲年末街頭 in 河内松原駅前



▲新春街頭 in 河内天美駅前



▲朝のご挨拶



▲見守り隊

带状疱疹ワクチンの接種はお済みですか？
今年度の定期接種対象者の助成は
令和8年3月31日までです！



詳しくはこちらから

※不活化ワクチン(2回接種)を希望する方は、助成を受けるには3月末までに2回接種が必要です。そのため、1回目は令和8年1月31日までに接種してください。

- 2025年度中に
65・70・75・80・85・90・95・100歳になる方と100歳以上の方
- 接種日において60歳以上65歳未満で、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に身体障害者手帳1級相当の障害を有する人
〈任意接種〉接種日において50歳・55歳・60歳の人

【助成額・助成(接種)回数】

生ワクチンは3,500円助成で1回接種、不活化ワクチンは各11,000円助成で2回接種。(生活保護世帯の人は全額助成。地域保健課で申請が必要)

個人質問



QRコードから議会の映像が見れます ▲



☆流産・死産を経験した方(天使ママ)への支援について



問 昨年度の松原市民における流産や死産を経験された方の人数を教えてください。

答 令和6年度、妊娠届を提出された方(約740人)のうち流産や死産を経験された方は26人と把握しております。

問 市として流産や死産を経験された方と関わる機会はあるのでしょうか？

答 令和6年度まで実施しておりました「出産・子育て応援給付金」が移行された「妊婦支援給付金」が、令和7年度から開始され窓口対応がございます。「妊婦支援給付金」は流産や死産を経験した方も対象となったことから、必然的に当事者の方と接する機会がございます。

問 保健師などの専門職が心情に寄り添った丁寧なケアを行っているとのことでしたが、専門職の方々のグリーフケアについて知識を向上させるような機会がありますか？

答 大阪府が主催する母子保健事業に関する研修が毎

年開催されており、必ず1名は受講するようにして学び得た内容を課内等で情報共有を図っています。

問 流産・死産を経験された方への支援として、産後ケアは利用できるのか教えてください。

答 できます。つらい経験をされた女性にとって、他の乳児と同じ場所では精神的負荷を感じることも想定されるため、居宅訪問(アウトリーチ)型による実施体制を整えております。

問 東大阪市にあるはちどり助産院で流産や死産を経験された方(天使ママ)専門の「産後グリーフケア」ができる施設も選択しの一つになることも必要だと思いますが、いかがでしょうか？

答 今後におきましても、様々な事情やニーズを踏まえ実施可能施設の拡充を図りながら利用しやすい環境を整えてまいります。

要望 これからも不妊症・不育症への支援とともに、天使ママになられた方への丁寧なグリーフケアをお願いします。



☆国産SAF(持続可能な航空燃料)について

問 廃食用油を原料として製造されるSAFは、従来の石油を原料に製造する航空燃料よりも最大約80%の二酸化炭素削減効果があるとのことですが、なぜこれほどの効果があるのでしょうか？

答 従来の航空燃料は、化石燃料である石油を原料とするため燃料として利用すれば二酸化炭素が排出されます。廃食用油から製造した燃料は化石燃料由来ではないバイオ燃料となるため燃焼に伴う二酸化炭素の排出は実質ゼロとなります。廃食用油の調達過程や航空燃料への製造過程で幾分かの二酸化炭素を排出することになりますが、それらを加味しても最大で80%の二酸化炭素削減効果があります。

問 廃食用油は、通常はどのように処理されていますか？

答 家庭用の廃食用油は、凝固剤で固めたり新聞紙や布などに吸わせて可燃ゴミとして廃棄されています。事業系の廃食用油は産業廃棄物として集められ飼料や肥料、石けんやインク原料、ボイラー燃料に再利用されています。

問 市内で一年間に可燃ゴミとして処理される廃食用油の量はどの程度ですか？

答 統計データより見積もると、年間約107トンの家庭用の廃食用油が処理されていることになります。

問 すでに市内の商業施設において、家庭の廃食用油を回収しており、将来的には国産SAFの製造につなげる



取組みが進められているとのことですが、具体的な内容を教えてください。

答 セブンパーク天美にて、2024年の4月から回収ボックスを設置し回収が実施されています。現状はバイオディーゼル燃料製造に活用されており、2026年から航空燃料としての活用を目指しているとのことです。

問 回収ボックスにはどのくらいの量が集まるのでしょうか？

答 担当者に尋ねたところ、1日あたり1リットルのペットボトル程度のペースで集まっているとのことです。

問 廃棄される量に比べると、回収され再利用される量はかなり少量ですね。本来廃棄されていた廃食用油が航空燃料に再利用できることは、知られていないと思います。市民の方一人一人ができる地球環境にやさしい行動として、こうした取組みを周知・啓発していく必要があると思いますが、どのようにお考えでしょうか？

答 今後は国産SAFの取組みもエコ行動の一つとして、各種イベントやSNS、広報などを通じて啓発してまいります。

要望 我が家でできるSDGsと捉えていただけるようエコグッズとしてペットボトルに廃食用油を移し替える小さなじょうごを配布するなど行い意識啓発をお願いします。育ち盛りのご家庭では油の消費もかなり多いと思いますので、これからがスタートです!!

